

生活指導

2022年に改定された生徒指導提要では、生徒指導を「子どもたちが社会の中で自分らしく生きることができる存在へと、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動」と定義しています。学校生活では、子どもたちは様々な制限やルールの中で活動しています。子どもたちが受動的に与えられた活動を行っていくのか、主体的に自ら自分事として捉えて活動していくのかでは大きな違いがあります。子どもたちの主体的な活動を支えていける生活指導を目指します。

○PBSの推進

PBS（Positive Behavior Support）は学校全体で取り組む積極的な行動支援のことです。本校では、クラスワイドPBSとして、各クラスで目標を立てて積極的な行動に取り組んでいくことと、スクールワイドPBSとして、学校全体で目標を立て積極的な行動に取り組んでいくことの2つを推進していきます。

「不適切な行動」に対して指導し、減らそうとするだけでなく、「望ましい行動」を認めていくことにより、「望ましい行動」を増やし、結果として「不適切な行動」を減らしていくという考え方で指導しています。

○吹田GRE・ENプロジェクト

吹田市が文部科学省の「令和3年度いじめ対策・不登校支援推進事業」の委託により、（公社）子どもの発達科学研究所との共同開発で作成されたいじめ予防授業を本校でも行います。また、児童用タブレットを用いて、直接教育委員会に情報を発信できるマモレポを運用しています。

○組織的な生徒指導

子どもたちの情報を共有し、組織対応に努めるだけでなく、デイケンや生活アンケートで個々の子どもたちの実態を把握するとともに、学校教育アンケートや心の元気アンケートを活用して、子どもたちの全体像を把握して、生徒指導上の課題を把握していきます。